

# オホーツク圏 経済情勢報告

令和7年8月



財務省 北海道財務局 北見出張所

# 目 次

概況	.....	2
1. 個人消費	.....	3
2. 観光	.....	4
3. 雇用	.....	5
4. 公共事業	.....	6
5. 住宅着工	.....	6
6. 企業倒産	.....	6
7. 金融	.....	7

○利用上の注意

- 1 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合があります。
- 2 本指標は、管内分の数値等を算出するため、公表数値等を当所が独自に集計及び調整したものであり、公表元の数値と必ずしも一致しない部分があります。また、公表数値が不定期に改訂されることもあります。

○符号の用法は次の通りです。

「0」～単位未満 「－」～該当数値なし 「R」～改訂値 「▲」～マイナス 「P」～速報値

# オホーツク圏経済情勢報告（令和7年7月判断）概況

	前回（7年4月判断）	今回（7年7月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しつつある 【判断の据え置きは、令和5年7月判断以降、9期連続】	⇒	個人消費は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。 観光は、緩やかに回復している。 雇用は、緩やかに持ち直しつつある。

	前回（7年4月判断）	今回（7年7月判断）	前回比較	備考
個人消費	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	⇒	
観光	緩やかに回復している	緩やかに回復している	⇒	
雇用	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	⇒	

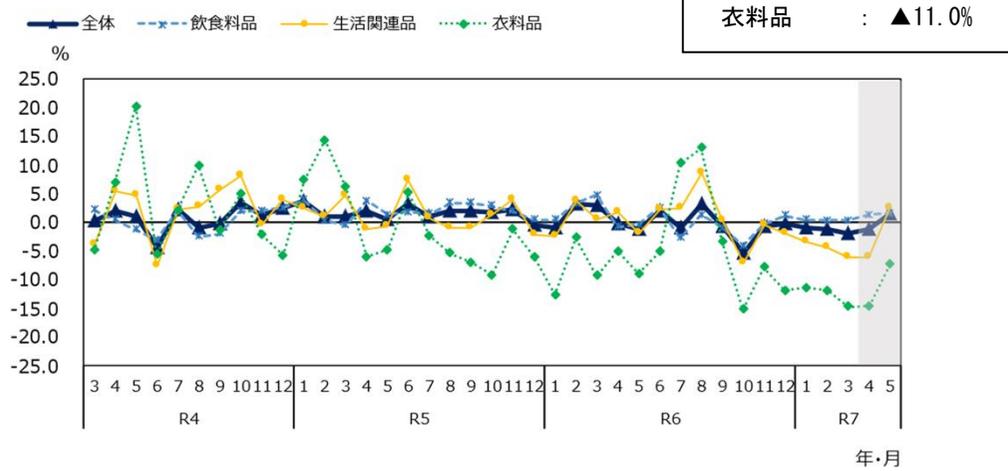
公共事業	前年を下回る	前年を上回る	↗	
住宅着工	前年を上回る	前年を下回る	↘	

先行き	先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。			
-----	--	--	--	--

（注）7年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

# 1. 個人消費 ～持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている～

## 主要小売店販売額(前年比)の推移



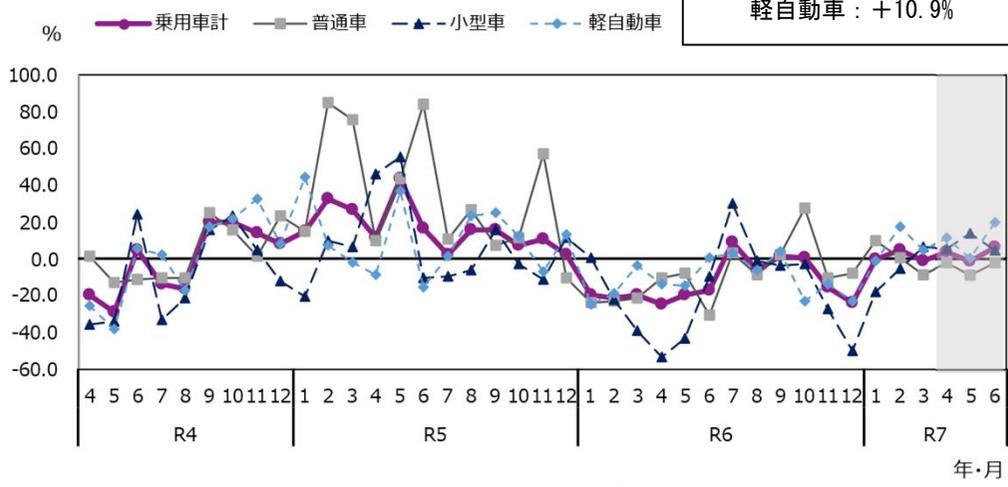
(注)主要小売店販売額は、令和5年1月判断より集計対象小売店が変更となったことから令和4年1月以降の数字全体を再計算している。  
資料:管内主要小売店

- 飲食料品は、輸入肉が価格上昇から低調であったが、総菜や冷凍食品が好調であったことなどから、前年を上回っている。
- 生活関連品は、アジアコスメが引き続き好調であったが、カウンセリング化粧品が低調であったことなどから、前年を下回っている。
- 衣料品は、学校関連の商品が低調であったことなどから、前年を下回っている。
- 新車登録台数は、受注残の登録や認証不正問題からの反動増などにより、前年を上回っている。
- このように、個人消費は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

### 【企業・関係団体からの生の声】

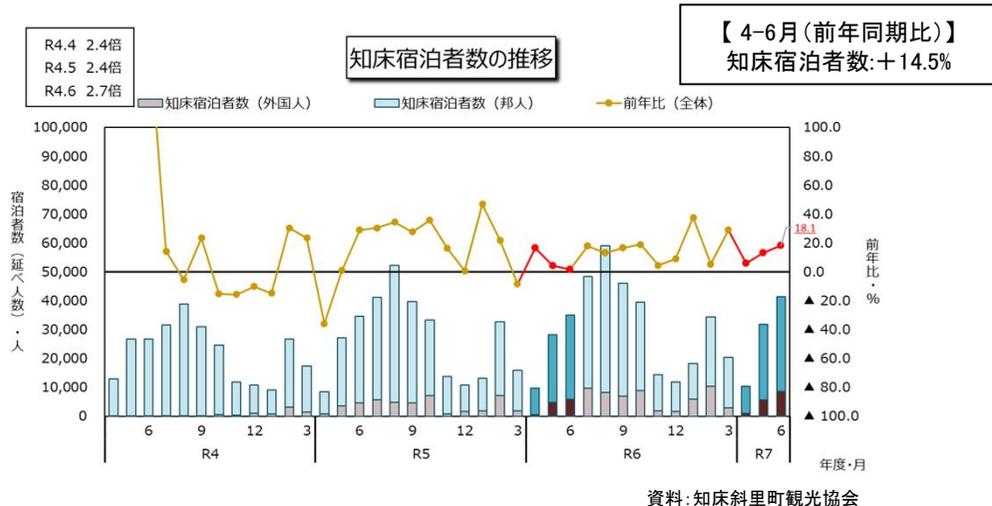
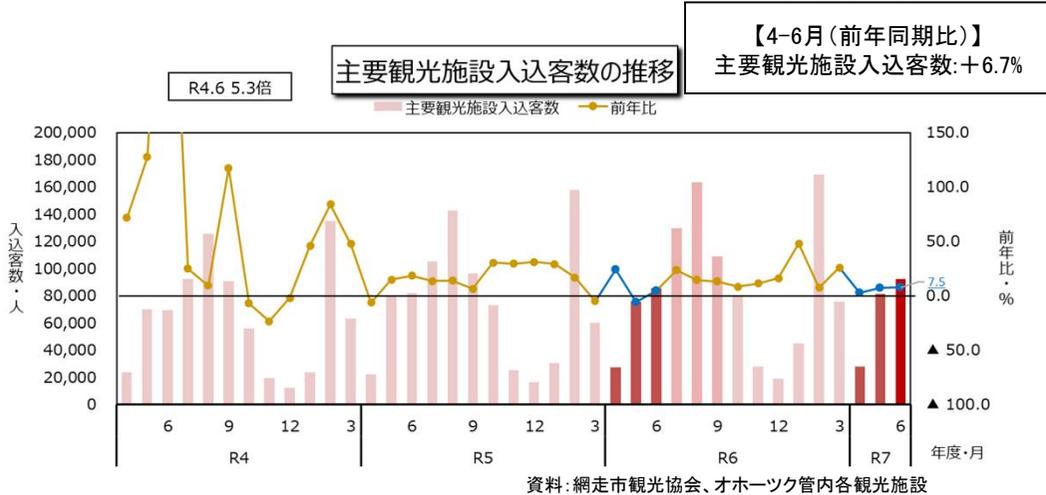
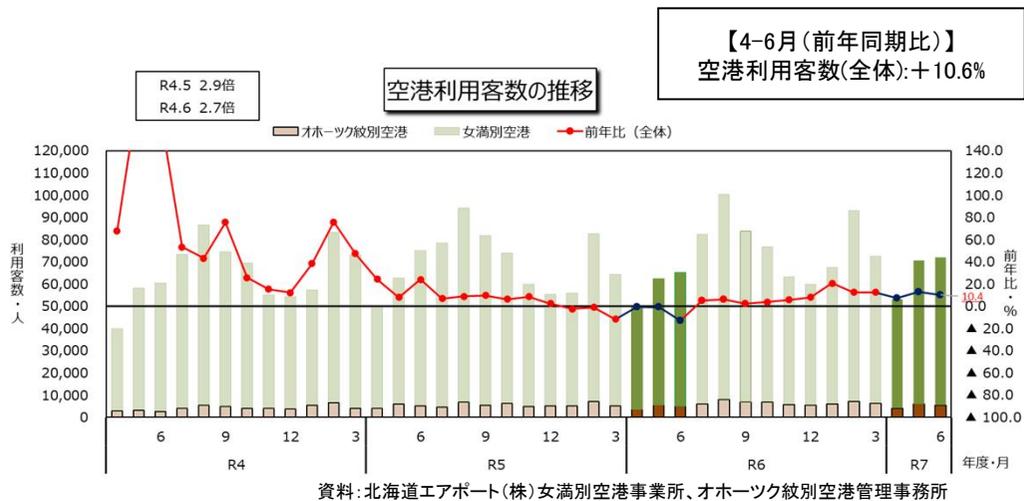
- 昨今、店舗内の総菜コーナーでは、値引きシールが貼られた途端、一斉に商品が売り切れるという状況が見られ、消費者の節約志向がより顕著になってきたという印象がある。(大型小売店)
- 野菜の価格高騰を背景に、冷凍野菜が引き続き好調であった。(大型小売店)
- 輸入肉の売上が芳しくない。米国産牛肉の価格が上昇しているため、国産肉との差が埋まってきており、ものによっては国産肉の方が安いというようなケースもある。(大型小売店)
- 物価高によりPB商品も値上げを実施しているが、メーカー品よりも値上げ幅が小さいため選ばれやすい状況は変わらず、引き続き好調だった。特にデイリーフーズ(日配食品)の売行きがよい。(大型小売店)
- カウンセリング化粧品は、もともと単価が高いため購入点数による売上額への影響が大きいこともあるが、不調だった。(大型小売店)
- 衣料品は、夏物のTシャツ、インナーなどに加えて、ビジネスウェアが特によく売れたが、学校関連が鈍かった。(大型小売店)
- 物価高騰による不景気感や米国の関税政策による不安感から家計の節約志向が高まっており、外食は真っ先に減られる家計消費であることから、影響が出ている。(飲食サービス業)
- 受注残や小型車のレンタカーの登録に加え、昨年発生した認証不正問題からの反動増により、登録台数が伸びた。(自動車関連団体)

## 乗用車新車登録台数(前年比)の推移



資料:(社)日本自動車販売協会連合会北見支部

## 2. 観光 ～緩やかに回復している～



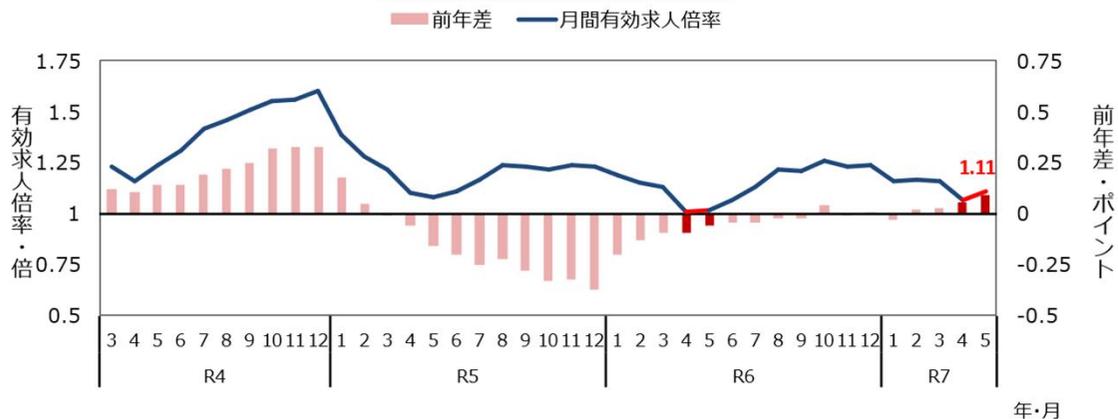
- 空港利用客数は、東京便を中心とした搭乗率の上昇により、前年を上回っている。
- 主要観光施設入込客数及び知床宿泊者数は、東アジアを中心に海外客の入込が好調であるほか、道外客を中心とする国内客も増加したことから、前年を上回っている。
- このように、観光は、緩やかに回復している。

### 【企業・関係団体からの生の声】

- 道外客・海外客は堅調に推移し、前年を上回った。国内客は、物価高による旅行控えの動きが道内客に見られたが、道外客については団体ツアー客を中心に前年同期に比べ増加している。(観光協会)
- 海外客は、7月に日本で大災害が発生するという根拠のない噂により香港からの宿泊者が3割ほど減少したが、台湾・中国からの宿泊者は増加しており、全体では前年同期比を上回っている。(観光協会)
- 今年は知床国立公園が世界遺産登録から20周年を迎えたことなどから、国内団体ツアーが前年同期比で約2割ほど増加している。(知床地区・宿泊施設)
- コロナ前と比較し、道東地域を周遊するような旅程よりも、知床地区に滞在して自然体験型の観光を楽しむような旅程が外国人を中心に多くなっており、2泊以上の長期滞在が増えている。(知床地区・観光施設)
- 7月以降は、夏の観光シーズンに入り、登山目的の観光客が増えるなど入込は好調を見込んでいる。知床が世界自然遺産に登録されてから20周年であり、9月には体験型記念イベントも予定しているので、前年を上回る見込みである。(知床地区・観光施設)
- 今後入込が増える余地があるのは海外客であると考えており、今年度はマレーシアやシンガポールで行われる旅行博への参加や、台湾やタイの旅行会社へのプロモーションなど、東アジアを中心に海外向けの宣伝誘致活動に力を入れていく。(観光協会)

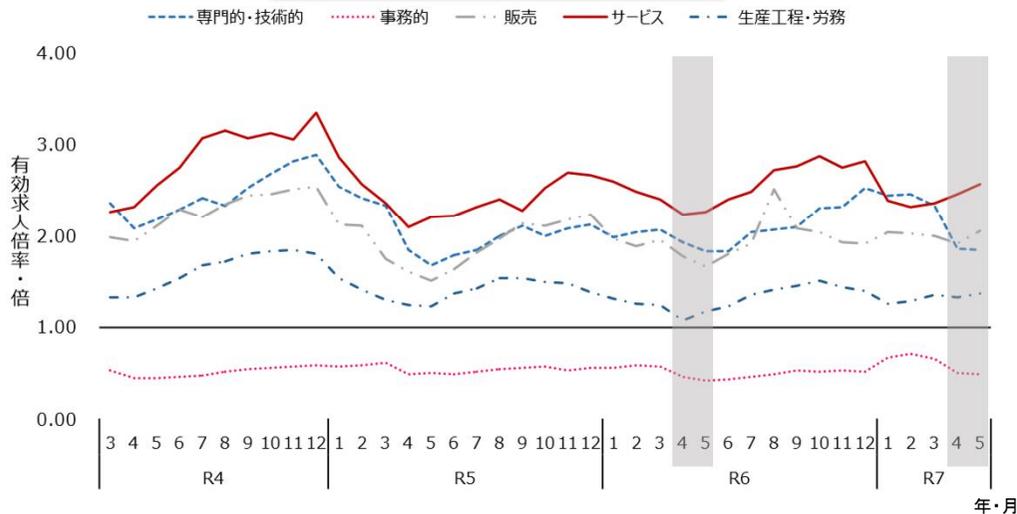
### 3. 雇用 ～緩やかに持ち直しつつある～

有効求人倍率（常用）の推移



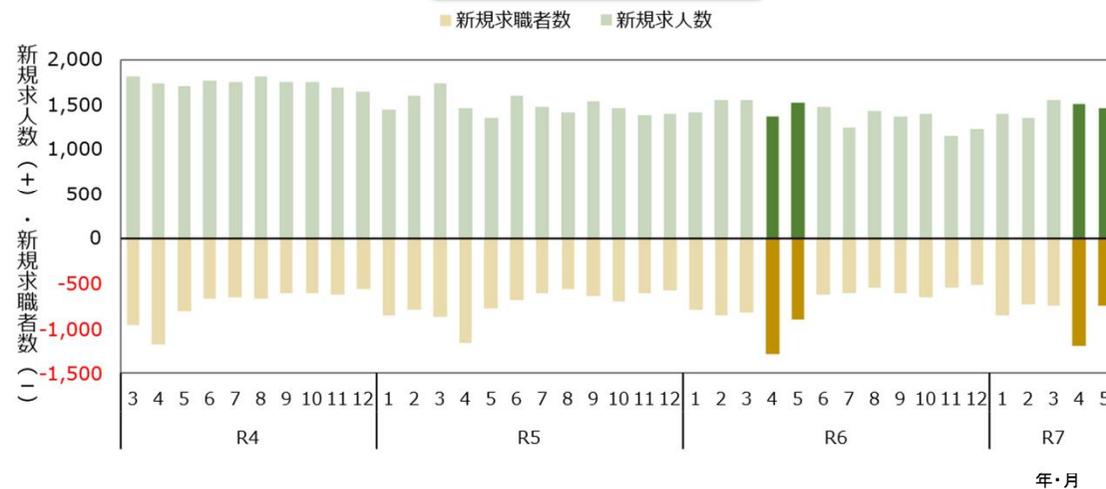
資料：北見、網走、紋別公共職業安定所

職種別有効求人倍率の推移（求職者上位5業種）



資料：北見、網走、紋別公共職業安定所

新規求人数・求職者数の推移



資料：北見、網走、紋別公共職業安定所

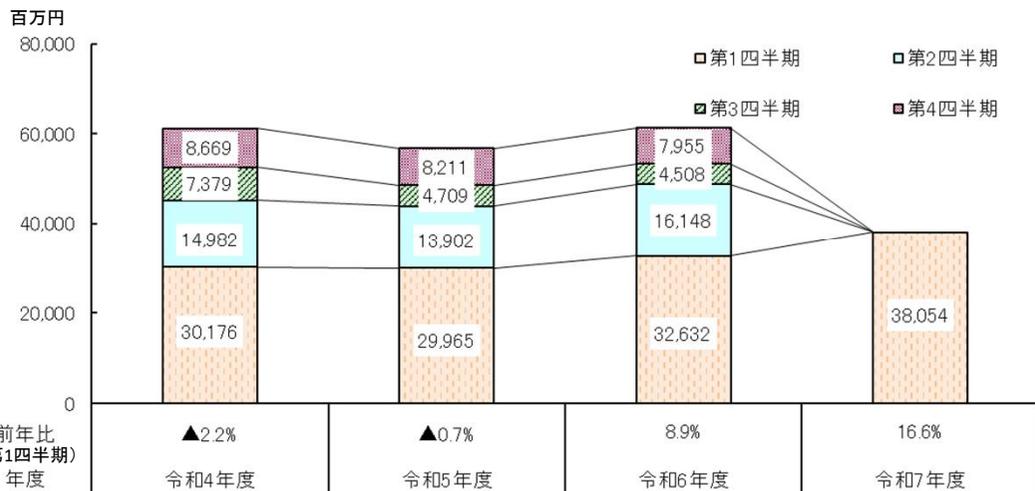
○ 有効求人倍率は、有効求職者数が減少したことなどから、前年を上回っており、緩やかに持ち直しつつある。

#### 【企業・関係団体からの生の声】

- 引き続き、建設業などで人手不足が進んでいることから、求人数は増加している。（公共職業安定所）
- 求職者の減少は、人口減少により労働者そのものが減っていることが主な要因と考えられる。（公共職業安定所）
- 高齢化による退職者が見られ、工場の担当者や夜勤清掃員が不足している。それなりに給料を高く設定しているつもりだが、なかなか人員は集まらない。（食料品製造業）
- 求人アプリも活用しているが、単純作業しか任せることができず人員確保の手段としては難しい。（観光業）
- 外国人技能実習生や特定技能外国人で当面の人員は確保しているが、長期的な雇用が見込まれる日本人従業員が足りていない。（食料品製造業）
- 当社は給与水準が高く転職する者がいないこともあって人員適正となっており、人手不足感は全くない。（木材製造業）

## 4. 公共事業 ～前年を上回る～

公共工事前払金保証請負金額の推移



資料:北海道建設業信用保証(株)

○ 公共事業を前払金保証請負金額で見ると、令和7年4月から6月においては、前年を上回っている。

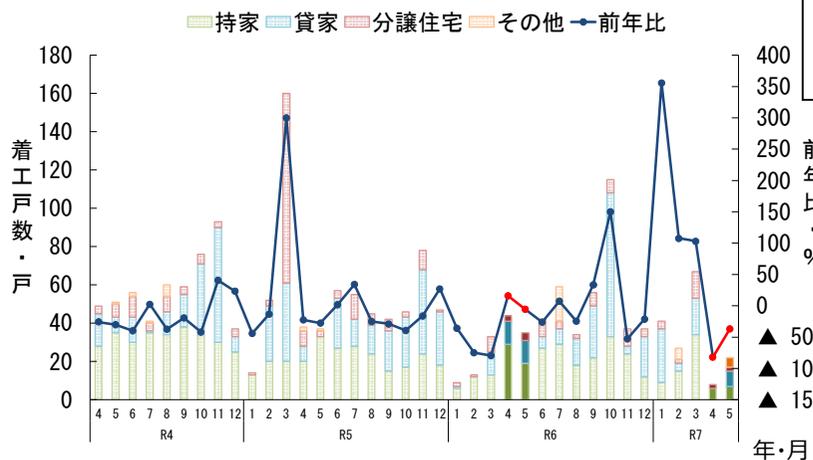
### 【企業・関係団体からの生の声】

- 建築工事においては、受注件数は横ばいであったものの、受注額は減少した。土木工事については、受注件数は微減となり、受注額は減少した。地方公共団体の予算の縮小により、一つの工事の規模が小さくなっていると感じる。(建設業)
- 生コンの値段が前年同期比で1割ほど上昇しているなど、資材価格は全体的に上昇している。価格転嫁は落札価格に徐々に反映されているものの追いついておらず、利幅は小さくなっている。(建設業)
- 業務のICT化(施工管理アプリ・ドローン等)の取組については、具体的に成果が出ているわけではないが、品質向上・時間(コスト)削減につながる取組だと感じている。人員不足への不安がある中で、業務効率化は必須であるため、継続して取り組んでいくつもりである。(建設業)

## 5. 住宅着工 ～前年を下回る～

○ 管内3市(北見市・網走市・紋別市)の新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅のいずれも前年を下回っている。

新設住宅着工戸数の推移



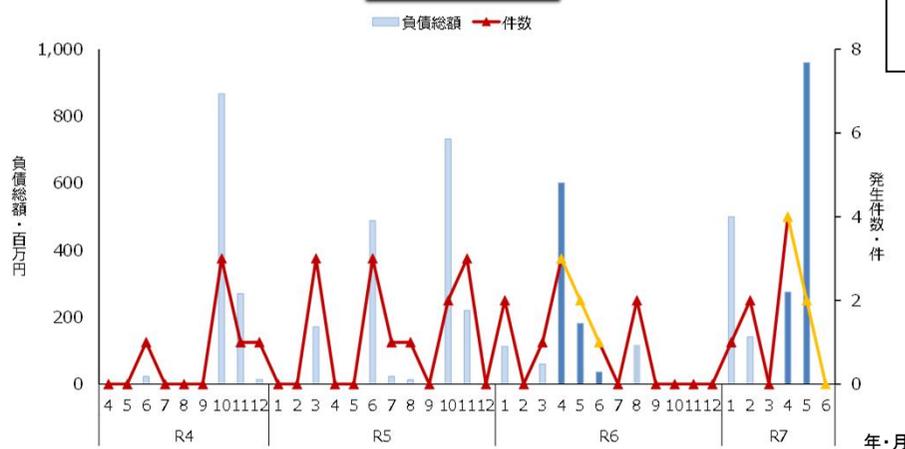
【4-5月(前年同期比)】  
 新設住宅着工戸数計:▲62.0%  
 うち持家:▲72.9%  
 うち貸家:▲66.7%  
 うち分譲住宅:▲42.9%

資料:国土交通省「住宅着工統計」

## 6. 企業倒産 ～件数は前年並み～

○ 企業倒産は、件数は前年並み、負債総額は前年を上回っている。

企業倒産の推移



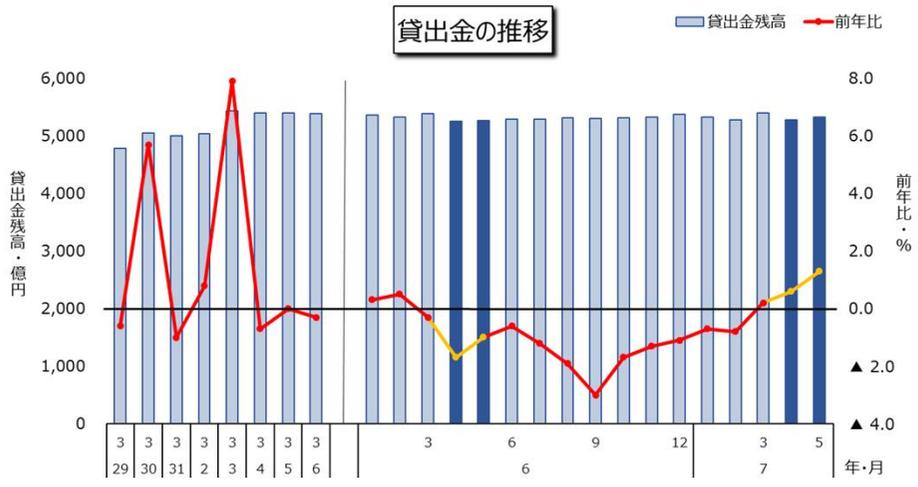
【4-6月(前年同期差)】  
 件数:±0件  
 負債総額:+415百万円

資料:(株)東京商工リサーチ北見支店

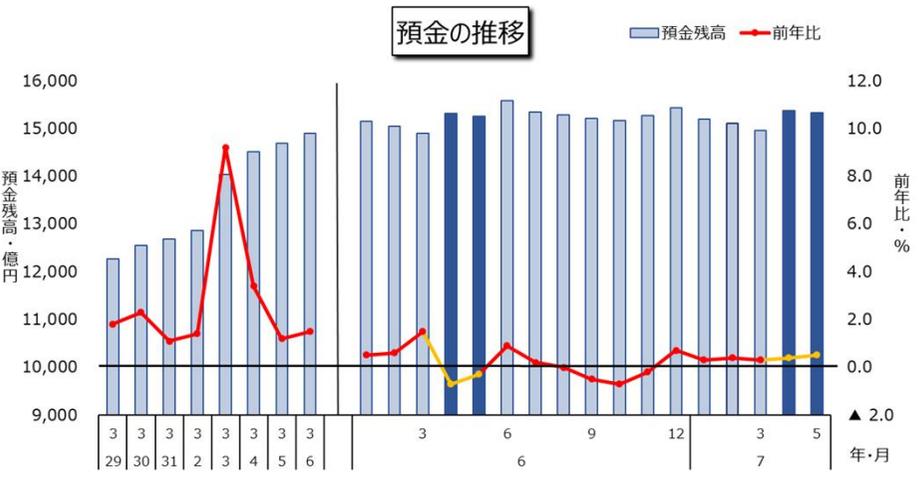
# 7. 金融 ～貸出金、預金ともに前年を上回る～

○ 貸出金残高は、設備資金が増加したことなどから、前年を上回っている。  
○ 預金残高は、前年を上回っている。

貸出金の推移



預金の推移



【4月～5月（前年同期比）】  
貸出金平均残高: +1.0%  
（うち設備資金: +2.9%）  
（うち運転資金: ▲3.8%）  
（うち地方公共団体: +4.2%）  
預金平均残高: +0.5%

貸出約定平均金利の推移



貸出金・預金の推移（銀行・信用金庫）

（単位：億円、%、ポイント）

年 月	貸出金残高				預金残高				貸出約定平均金利		
	前年比	設備資金	前年比	運転資金	前年比	地方公共団体	前年比	前年比	前年差		
29. 3	▲ 0.6	2,037	2.3	1,572	▲ 4.3	1,172	▲ 0.5	12,269	1.8	1.437	▲ 0.087
30. 3	▲ 5.7	2,083	2.2	1,688	▲ 7.4	1,282	▲ 9.4	12,546	2.3	1.323	▲ 0.114
31. 3	▲ 1.0	2,105	1.1	1,626	▲ 3.7	1,270	▲ 0.9	12,678	1.1	1.276	▲ 0.046
2. 3	▲ 0.8	2,166	2.9	1,610	▲ 1.0	1,264	▲ 0.5	12,856	1.4	1.243	▲ 0.034
3. 3	▲ 7.9	2,224	2.7	1,875	▲ 16.5	1,340	▲ 6.0	14,034	9.2	1.150	▲ 0.093
4. 3	▲ 0.7	2,264	1.8	1,842	▲ 1.8	1,297	▲ 3.2	14,509	3.4	1.131	▲ 0.018
5. 3	▲ 0.0	2,353	3.9	1,852	▲ 0.6	1,198	▲ 7.6	14,681	1.2	1.148	▲ 0.017
6. 3	▲ 0.3	2,381	1.2	1,809	▲ 2.3	1,195	▲ 0.2	14,900	1.5	1.176	▲ 0.028
7. 3	▲ 0.2	2,435	2.3	1,711	▲ 5.4	1,248	▲ 4.4	14,949	0.3	1.296	▲ 0.120
6. 4	▲ 1.7	2,384	1.0	1,742	▲ 2.9	1,124	▲ 5.2	15,308	▲ 0.7	1.190	▲ 0.040
5. 5	▲ 1.0	2,384	1.2	1,733	▲ 3.3	1,145	▲ 2.1	15,250	▲ 0.3	1.196	▲ 0.042
6. 6	▲ 0.6	2,379	0.9	1,765	▲ 1.6	1,145	▲ 2.1	15,575	0.9	1.196	▲ 0.042
7. 7	▲ 1.2	2,379	1.2	1,769	▲ 3.8	1,145	▲ 2.1	15,343	0.2	1.200	▲ 0.049
8. 8	▲ 1.9	2,386	1.3	1,789	▲ 5.3	1,145	▲ 2.9	15,278	▲ 0.0	1.213	▲ 0.060
9. 9	▲ 3.0	2,391	1.0	1,829	▲ 6.6	1,086	▲ 4.8	15,210	▲ 0.5	1.229	▲ 0.067
10. 10	▲ 1.7	2,392	1.6	1,841	▲ 5.0	1,086	▲ 3.1	15,158	▲ 0.7	1.230	▲ 0.068
11. 11	▲ 1.3	2,407	2.0	1,835	▲ 4.4	1,086	▲ 3.0	15,271	▲ 0.2	1.244	▲ 0.084
12. 12	▲ 1.1	2,415	1.6	1,840	▲ 4.9	1,118	▲ 0.2	15,423	0.7	1.266	▲ 0.107
7. 1	▲ 0.7	2,413	1.6	1,755	▲ 5.7	1,161	▲ 2.9	15,194	0.3	1.265	▲ 0.101
2. 2	▲ 0.8	2,416	1.9	1,691	▲ 7.3	1,176	▲ 3.8	15,105	0.4	1.278	▲ 0.099
3. 3	▲ 0.2	2,435	2.3	1,711	▲ 5.4	1,248	▲ 4.4	14,949	0.3	1.296	▲ 0.120
4. 4	▲ 0.6	2,453	2.9	1,666	▲ 4.4	1,163	▲ 3.4	15,364	0.4	1.339	▲ 0.149
5. 5	▲ 1.3	2,452	2.8	1,676	▲ 3.3	1,202	▲ 5.0	15,332	0.5	1.348	▲ 0.153

※管内に所在する銀行、信用金庫の本支店分の合計。（ゆうちょ銀行を含まない。）

資料：北海道財務局北見出張所

【問い合わせ先】

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

財務省 北海道財務局 北見出張所 財務課

〒090-0018 北見市青葉町6番8号 北見地方合同庁舎  
TEL 0157 (24) 4167

本報告は、北海道財務局北見出張所ホームページでもご覧いただけます。  
ホームページアドレス <https://ifb.mof.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>

北海道財務局北見出張所

検 索





オホーッ/クール

cool!